

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市岩切児童館
2	指定管理者	特定非営利活動法人みやぎ・せんだい子どもの丘
3	指定期間	平成29年4月1日から平成34年3月31日まで
4	施設の利用状況	《利用者数》 35,840人 (前年度比 82.1%) 平成28年度 43,672人 平成27年度 53,244人 平成26年度 51,441人
		《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業
5	収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 58,248千円 (45,816千円) ()は前年度決算額 ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)
		《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)
6	利用者の声	《実施状況》 利用者アンケート、児童館運営委員会、児童クラブ保護者会を実施。

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野		所見	評価
I	総則	児童館の設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示、ホームページ等で利用者にも周知している。また、地域特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	S
II	施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な運営管理体制が構築されている。また、施設内外の日常点検及び定期点検、マニュアル等の整備、毎月の避難訓練の実施等、安全に留意した運営に取り組んでいる。特に、子どもたちの防災意識を高めるため、仙台市防災リーダーと連携しながら防災カルタを活用したワークショップを実施している。	S
III	施設・設備の維持管理	日常的・定期的な保守点検や清掃により、建物、設備、外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取組みが実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	S
IV	サービスの質の向上	名札の着用、館内掲示による職員紹介、児童館だけの発行やホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境作りに取り組んでいる。また、各種研修への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等を通して利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。職員は、利用者に対する気持ちのよい挨拶や丁寧な対応を心がけている。	S
V	施設固有の基準	児童クラブにおいては、児童クラブ通信、個人面談、日々のやりとり等を通して子どもたちの遊びや生活の様子を伝え、保護者との連携・情報共有に努めている。また、自然が豊かであるという地域性を活かした泥遊びやあぜ道遊びなど身近な自然と触れ合う機会を多く持ったり、小学校体育館を利用して集団運動遊びを行ったりするなど、遊びの環境や素材を工夫し、遊びの充実を図っている。	S

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み		取組み状況
1		
2		
3		
加点評価		—

四 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人みやぎ・せんだい子どもの丘）による自己評価》
<p>仙台市の掲げる4つの柱に沿いながら、子どもや地域の方々と協働で様々な事業を行うことが出来た。</p> <p>○健全育成事業 児童館で行っている子どもボランティアの活動や児童クラブ登録児童と自由来館児童が共に参加できるプログラムを厚生労働省へ情報提供する活動を通して、子どもの参画について見直す機会となった。中高生にとって、ボランティアとして児童館の活動に参加する以外にも、児童館が学校帰りにふらっと立ち寄れる場所になっていると感じている。</p> <p>○子育て支援事業 今年度からプレママ・プレパパ広場を始めたが、参加は少なかった。広報や周知の方法を考え、平成30年度は保健センターと協働で、地域のプレママのために何が出来るかを考えていきたい。子育てネットワークでは、「わいわい広場」や「会議」などで、各機関と地域課題を共有したことで、それぞれが持っている資源がうまく活用されていないのではないかと新しい課題が見えてきた。地域保育所との交流も日常的に行った1年だった。</p> <p>○地域交流事業 岩切特産のまがりねぎを題材にしたダンスは、地域に広まっている。社明運動やお祭り、PTAフェスティバルなどにも呼ばれ大好評を博しており、その様子は農水省のHPにも紹介された。その他、JAに作成してもらったユニフォームでJA祭りに参加するなど、まがりねぎを中心にした活動が広がりを見せた1年だった。</p> <p>○児童クラブ タイムシェアの第3児童クラブが新しく始まった。各クラブの特徴を生かし、日常の積み重ねを大切にしながら個別・集団の中で子どもと関わりを持ってきた。その中で見えてきた家庭や学校での過ごし方などにも気を配り、様々な場面でケアをすることができた。個人面談も行った。また、戸外活動、親子事業などを通して、子どもの遊びや頑張り、普段の様子を伝え、保護者とも楽しさを共有することができた。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>子育てのネットワークや学校及び町内会を中心とした子どもの育ちを見守る連携体制が構築されており、地域の児童館として、地域の協力を得ながら事業の充実に取り組んでいる。</p> <p>登録児童が増加しているため、日々の遊びと空間の使い方について職員間でアイデアを出し合い、連携して児童クラブの運営を行っている。</p> <p>子どもが育つ地域社会との連携を目指し、「まがりねぎ」のダンスを地域の祭りで披露しているほか、地域の会議で子どもの育ちについて情報交換を行ったり、地域の子育てネットワークに参加し幼稚園や保育所と協働で活動を行ったりするなど、児童の健全育成を図る様々な取り組みが行われている。</p> <p>また、児童館の特徴である切れ目のない支援を行うため、乳幼児期・小学生期・中高生期、それぞれに合わせたプログラムを準備し、つながりを大切にしながら児童の健全育成と地域交流、世代間交流に取り組んでおり、評価できる。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進室